

平成 17 年（2005 年）10 月 31 日、回答日 11 月 18 日

## 質問状:NO.19に対する回答

### 全国一安い水道料金について

太田川系水価の決定プロセスについての確認:

遠州広域水道の統一料金の基本料金制定の過程をまとめると下表のようになると考えます。

	契約水量 (トン/日)	H16 基本料金	H17-20 基本料金	H21以降の 基本料金
中遠系	115000	33円/トン	統一料金A 33円/トン	統一料金B 33円/トン
湖北・湖西系	109700	45円/トン		
太田川系	損失水量復活分 仮称「純正太田川系」	12100 55300		

平成17年度より値下げされた中遠系、湖北・湖西系の基本料金Aは、太田川系も含めて計算された統一料金を先取りするものであり、実質的には統一料金Bそのものであると理解しています。

#### 1 受水市町村からの水価の提示要請について

1-1 太田川系受水市町村から、太田川系の水価の提示を求められたことはありますか。

回答 1-1 あります。

1-2 太田川系の水価を提示する方針を持っていましたか。

1-3 太田川系の水価を公表しましたか。もし公表したのであれば、その水価はいくらですか。

回答 1-2、3 参考までに試算した太田川系の料金 45 円/m<sup>3</sup>を受水市町村に対して示しました。

#### 2 平成17年度に値下げされた遠州広域水道の統一料金について

2-1 平成17年度に値下げされた統一料金Aは、平成 17 年 1 月 19 日に、企業局が受水市町村に、「遠州水道料金における水価の算出について」と題する報告書で、中遠系、湖北・湖西系、太田川系の統一料金として提示した統一料金Bと同じですか。

2-2 違うとすれば、どこがどのように違うのですか。

回答 2-1、2 「統一料金B」は、平成 21 年度から 25 年度までの 5 年間に於ける太田川系を含めた遠州広域水道全体の費用及び使用水量を基に試算した料金です。この料金を既存の中遠系、湖北・湖西系に適用しても経営可能であると判明したため、平成 17 年度から「中遠系、湖北・湖西系の統一料金」として適用したものです。

2-3 2月度県議会で条例改正した料金は、統一料金Aに関してであり、この中には平成21年度から供用開始となる仮称「純正太田川系」を含めたものではないという見解でしょうか。

回答 2-3 そのとおりです。

### 3 “全国一安い水道料金”に太田川系の料金が含まれているかいないか

企業局はネットワーク「安全な水を子どもたちに」共同代表の山本寛が9月19日中日新聞「しずおか時想」に投稿した記事に対し、10月3日付け「発言」の欄で「水道料金が全国一安くなった要因は、中遠系、湖北・湖西系の水道料金を45円/トン(基本料金33円、使用料金12円)に値下げしたためであり、平成21年度に供用開始する太田川系の料金を含んでいない」と述べています。

山本寛が「しずおか時想」で、「コスト高になる太田川系を含めても、企業局が供給する水道料金が全国一安いのは立派なことのように思える」と述べている真意は次の通りです。

- ・ 統一料金の基本料金計算のなかには、仮称「純正太田川系」のコストも含まれている。
- ・ コスト高になる仮称「純正太田川系」を含めた統一料金への値下げでも、全国一安い水道料金は立派である。

また、現実に「損失水量復活分」の太田川系は平成15年度から販売されている。

一方、企業局は10月3日の「発言」の欄で「平成21年度に供用開始する太田川系の料金を含んでいない」となっているが、拙稿に対するコメントとして企業局が9月21日に中日新聞に送付したFaxには「平成21年度に供用開始する」はありません。

3-1 企業局の「太田川系の料金を含んでいない」では、何を主張したいのですか

回答 3-1 全国一安い水道料金は、駿豆、榛南、遠州水道(中遠系、湖北・湖西系)を合わせた平成17年度の平均の料金のことであり、これには供用を開始していない太田川系の料金は含んでいないという事実を述べたものです。

3-2 太田川系に分類されている「損失水量復活分」は、平成17年度からの値下げの対象にはなっていないのですか

3-3 それとも、「損失水量復活分」はもともと太田川を水源としないので、太田川系から外されたのですか。外したとすればいつの時点から外したのですか。

3-4 もし、太田川系「損失水量復活分」が値下げされているのであれば、「平成21年度に供用開始する太田川系の料金を含んでいない」というのは何を言おうとしているのですか。

私どもは、この表現は太田川系が既に供用を開始していることから、読者の目をずらすための戦術であると判断し、強く抗議します。

回答 3-2~4 太田川ダムが完成するまでに水が不足する市町村に対しては、既設浄水場のリサイクル水を利用した暫定給水を平成15年度から行っています。このリサイクル水の料金につきましては、受水市町村との間に「太田川ダムが完成するまでは既存の中遠系、湖北・湖西系の料金で給水する」との合意があり、これに基づき、平成20年度までは中遠系、湖北・湖西系で扱うこととしています。

#### 4 受水市町村からの合意の取り付け

- 4-1 受水市町村水道担当者への説明会の年月日はいつでしたか
- 4-2 受水市町村への水道料金改定の同意書の提出を求めた年月日はいつでしたか
- 4-3 浜北市からの同意も得られましたか

回答 4-1~3 受水市町村に対しては、平成16年9月から平成17年1月にかけて同意を得るための説明を行い、全受水市町村から同意を得ています。

#### 5 全国一安い水道料金の要因について

企業局は水道料金を安くできた要因として：

- (1) 施設整備における現有設備の有効活用、汎用機器・省エネ設備の導入によるコストダウン
  - (2) 長期修繕・改良計画による計画的かつ効率的な施設整備
  - (3) 休日・夜間の維持管理業務の民間委託
  - (4) 浄水場発生土の有効活用
  - (5) 電気供給契約及び維持管理業務の複数年契約を導入
  - (6) 国庫補助金、県出資金の確保
- (以上企業局8月2日プレスリリース)

を挙げていますが、

- (7) 減価償却の進展
- (8) 支払利息の減少

は取り上げていない。

公開質問状18の回答として得た中遠系、湖北・湖西系の経費の推移表を以下に示す。

中遠系

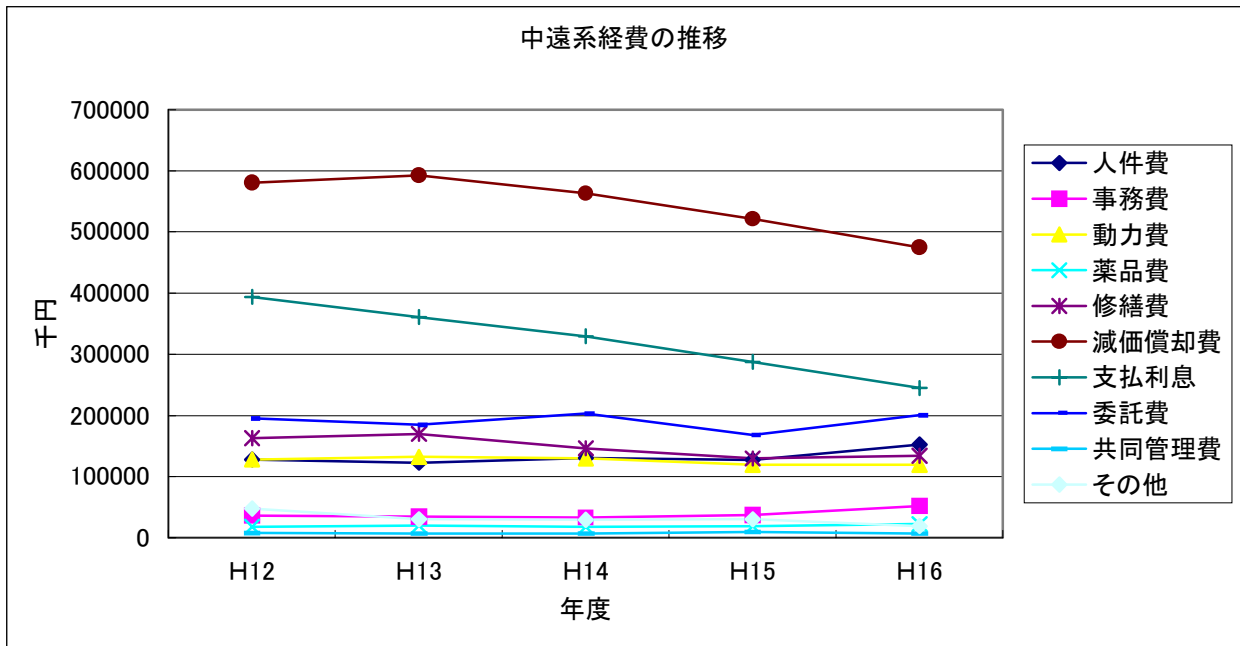
	H12	H13	H14	H15	H16	単位：千円 計
人件費	128098	122896	130508	127463	152200	661165
事務費	36292	34901	33487	37490	52517	194687
動力費	128555	132443	129715	119727	119573	630013
薬品費	18338	19910	18583	18880	22766	98477
修繕費	163354	169982	146857	129728	133982	743903
減価償却費	580323	593055	562768	521152	474841	2732139
支払利息	393824	361293	329767	287714	245314	1617912

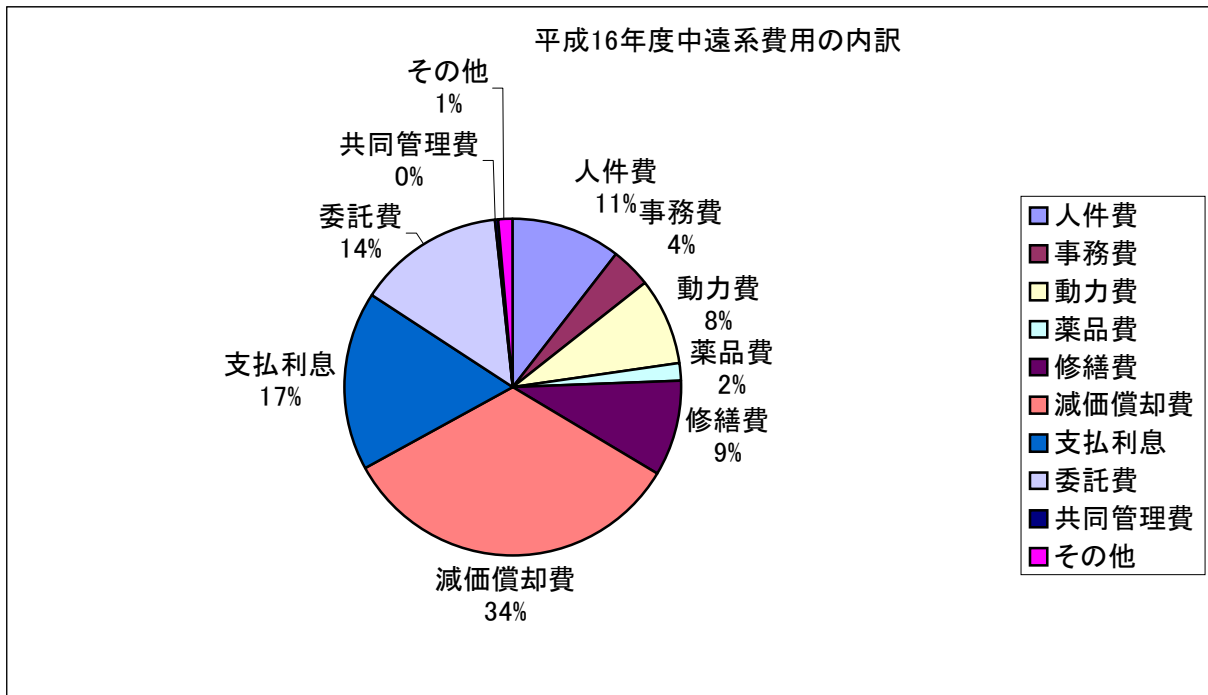
委託費	195191	184621	203142	168052	200118	951124
共同管理費	7569	6905	7048	9993	6598	38113
その他	48292	30466	29863	30168	19008	157797
計	1699836	1656472	1591738	1450367	1426917	7825330

湖北・湖西系

	単位:千円					
	H12	H13	H14	H15	H16	計
人件費	161616	167435	155635	150523	169310	804519
事務費	21744	24549	22685	27600	32153	128731
動力費	84777	93972	91436	96737	100087	467009
薬品費	12255	14683	13804	14418	17372	72532
修繕費	112276	78384	64711	70417	322982	648770
減価償却費	631061	652320	645104	569890	468362	2966737
支払利息	728967	699056	665714	629719	591568	3315024
委託費	113437	160365	129155	107821	125766	636544
共同管理費	46976	46542	45762	46766	50179	236225
その他	44134	15187	14470	13646	11934	99371
計	1957243	1952493	1848477	1727537	1889713	9375463

中遠系に関し、経費の推移、H16の経費の内訳を下のグラフに示す。





#### 分析結果

- ・ 費用項目の中で、減価償却費＋支払利息が50%以上を占める
- ・ 費用項目の中で、明確に減少傾向にあるのは、減価償却費と支払利息のみである
- ・ これ以外の項目は横ばい傾向であり、コスト減少の傾向はみられない
- ・ 減価償却費と支払利息の減少により、4年間で約6円/トンの基本料金分が減少した。

(H12の減価償却費＋支払利息)－(H16の減価償却費＋支払利息)

= (580323 + 393824)－(474841 + 245314) = 974147－720155 = 253992 千円 → 約 2.54 億円

この費用低減額を年間契約給水量で割ると、253992000 円 / (115000 × 365) = 6.05 円/トン

- ・ 同様に計算すると湖北・湖西系で4年間で7.5円/トン安くなる。
- ・ 中遠系の場合、**全ての費用を基本料金に転嫁しても**、平成16年度の単価は  
1426917 千円 / (115000 トン × 365 日) = 33.99 円/トン
- ・ 平成16年度の中遠系の変動的経費を、企業局が平成17年1月19日に受水市町村に説明した「遠州水道料金における水価の算出について」で用いられている平成21年度～25年度の平均と仮定すると、1511000 千円 / 5 年 = 302200 千円/年。

**平成16年度の推定基本料金** = (総費用－変動的経費) / 年間契約量 =

(1426917 千円－302200 千円) / (115000 × 365) = **26.79 円/トン**

- ・ 減価償却費と支払利息の減少がそのまま続くと仮定すると、平成21年度の推定基本料金は平成17年度から平成21年度までの5年間で更に6.05円 × 5年 / 4年 = 7.56円/トン安くなるので、**19.23 円/トン**となる。
- ・ **これが、平成21年度からの統一料金では33円/トンとなる**

5-1 企業局が主張する費用削減項目(1)～(6)は上記グラフの上でどのように反映されていますか。

5-2 費用項目への配分が難しいようであれば、(1)～(6)の改善項目に関しH12とH16での改善額を明示していただけますか

回答 5-1、2 水道料金を安くできた要因については、駿豆水道、榛南水道、遠州水道の既存事業全体における取組項目を掲げたものですが、改善額の算出はしていません。

5-3 減価償却の進展、支払利息の減少は他の要因と比較すると、無視できるレベルですか

5-4 もし無視できないレベルであれば、この2項目を列挙しない理由は何ですか

回答 5-3、4 全国一安くなった理由として掲げた「施設整備における現有設備の有効活用」や、「長期修繕・改良計画による計画的かつ効率的な施設整備」、「国庫補助金、県出資金の確保」により、減価償却費や支払利息が低減されているからです。

5-5 平成12年度から平成16年度の間に、減価償却費、支払利息の減少により、中遠系で約 6 円/トン、湖北・湖西系で約 7.5 円/トン水価が安くなっているとする上記の計算について、何か間違いがありますか。また、企業局の計算によれば、どのような計算結果になりますか。

回答 5-5 減価償却は、定額法によりおこなっているため、通常は一定して減少するというものではありません。平成12年度から平成16年度に減価償却費が減少しているのは、耐用年数が過ぎた施設の延命を図っている等のため、あくまでも一時的なものです。将来にわたって安定した給水を行うためには、順次施設の更新が必要であり、これに伴う新たな費用(減価償却、支払利息等)の増加が今後見込まれます。

平成12年度と比べると平成16年度の契約水量1m<sup>3</sup>当たりの減価償却費及び支払利息は、確かに減少していますが、料金算定にあたっては、長期的な施設の整備計画を視野に入れなければならないことから、この期間だけをとらえて直ちに水価が安くなるということにはなりません。

5-6 (6)の国庫補助金、県出資金(返却不要)が、値下げに寄与したとしても、最終的には受水者が税金の形で水道料金を払うだけです。これは受水者にとっては「タコは自分の足でも食べて喜んでい」といわれているに等しい屈辱的な項目です。国庫補助金、県出資金を入れた理由は何ですか。

回答 5-6 住民の生活に不可欠なサービスを低廉な料金で提供することは、地方公営企業の責務であると考えています。このため、企業局では、国庫補助金や県出資金の制度も最大限活用し、県民の期待する安心、安全、安価な水道用水を安定的に供給していく必要があると考えています。

5-7 国庫補助金、県出資金は最初の段階から水価を下げるのに効果がある項目であり、減価償却、金利負担のように経年に伴いコスト削減効果が出る項目ではありません。企業局があえて国庫補助金、県出資金を上げた理由は、太田川系では国庫補助金、県出資金の割合を約70%にまで高めることができたので、それが統一料金を低くするのに寄与し、その結果が

平成 17 年度からの中遠系、湖北・湖西系の大幅値下げ → “日本一安い水道料金”に帰結したことを言いたかったのですか。しかし、これは太田川系水価が“日本一安い水道料金”に貢献したことになりませんか。

回答5-8 全国一安い水道料金は、駿豆、榛南、遠州水道(中遠系、湖北・湖西系)を合わせた平成 17 年度の平均の料金のことであり、これには供用を開始していない太田川系の料金は含んでおりません。

以上